

宮崎銀行 CSR 私募債を活用し (株)山崎と(有)丸忠園芸組合が寄付

10月21日、市は(株)山崎(潮崎盛隆代表取締役社長)から40万円、(有)丸忠園芸組合(税所篤代表取締役社長)から20万円の寄付を受け、寄付採納式が行われました。この寄付は、(株)宮崎銀行のCSR 私募債を利用したもので、社債を発行する際に銀行側が引受手数料を割引きし、その割引き分を原資として地域貢献のために寄付する仕組みになっています。寄付金は、新型コロナウイルス感染症拡大防止など、さまざまな施策の推進のために活用されます。



(写真⑤中央) 株式会社山崎の潮崎盛隆代表取締役社長
(写真⑥中央) 有限会社丸忠園芸組合の税所篤代表取締役社長

シルバー人材センターが奉仕活動

10月17日、小林市シルバー人材センターが事業の普及啓発月間の活動として、奉仕活動を行いました。今年は地域密着の活動として、会員278人が市内18か所の地元地域で、道路沿いの草刈りやごみ拾い、公共施設や神社の清掃作業などを行いました。



永田町区 宝くじ「コミュニティ助成事業」で備品を整備

(一財)自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業として実施される「コミュニティ助成事業」の助成金を受けて、永田町区の備品が整備されました。駅前東集会所と永田町教育集会所に持ち運びしやすい机や椅子を整備。高齢者や子どもにやさしい環境が整いました。同事業の助成金は宝くじの受託事業収入を財源として、全国で社会のために役立てられています。



①第二中の生徒会長と記念撮影 ②第二中生徒に須木の特産品や魅力も紹介
③海士中生徒が紹介する海士町の魅力を学ぶ ④海士町の特産品を味わう

須木中がネットを積極的に活用 県外の同世代とウェブ交流

10月9日、須木中学校生徒会が豪雨災害で被災した人吉市立第二中学校に、オンラインで寄付金の贈呈を行いました。寄付金は生徒会が中心となり須木地区内で集めたもので、贈呈後はお互いの学校生活について話すなど交流を深めました。同校は島根県の海士中学校生徒と交流するなど、インターネットを活用した交流を進めています。

本を通じて人との出会いをつくる

10月10日、TENAMU 交流スペースでブックフェスタ・ジャパン2020が開催されました。本を通じて人との出会いをつくることを目指すイベントで、劇団による朗読劇や、「本の力でまちをかえる」をテーマにしたオンライントークイベントが行われました。



110 ㌢ハードルで全国大会出場 中学生アスリートが活躍誓う

10月5日、小林中3年で陸上駅伝部に所属する永井侑太さんが、全国中学生陸上競技大会2020の110㌢ハードルに出場することを市長に報告しました。永井さんは8月29日に開催された第66回全日本中学校通信陸上競技大会宮崎県大会で優勝。申込資格記録を上回ったことで、全国大会出場の切符を手に入れました。



永井さんは「これまで教わってきた技術を出し切って、悔いのない走りをしたい」と大会への抱負を話していました。

赤い羽根共同募金運動がスタート

10月1日、赤い羽根共同募金運動がスタートしたことを受けて、中央共同募金会会長と厚生労働大臣のメッセージ伝達式が行われました。運動期間は12月31日まで。寄せられた募金は、地域のボランティア活動や福祉活動などに役立てられます。



市内最高齢者の鶴丸さんを祝う

9月19日、敬老の日にあわせ市内最高齢の鶴丸百合子さん(107歳)を宮原市長が表敬訪問しました。鶴丸さんは大正2年生まれ。市長から賞状と記念の花(西諸県地区花き振興会提供)を受け取ると「ありがとうございます。」と感謝の言葉を述べました。



内村さんは作文で「戦争を体験した世代が少なくなっても、私たちの世代が戦争の真の姿を学び伝えていかなければならない」と訴えました。

遺族関係者ら約300人が参列 戦没者追悼式を忠霊塔で開催

10月2日、戦没者追悼式(小林地区)が緑ヶ丘公園忠霊塔前広場で開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、座席数を減らすなど規模を縮小して開催。式典では、西小林小学校の田中悠さん(写真上)と細野中学校の内村稟さん(写真下)による「平和への想い」をテーマにした作文の朗読も行われました。



西山区長は「宣誓することで自分の運転を振り返るいいきっかけになった。宣誓内容に従って安全に運転していきたい」と話していました。

長く安全に運転を続けるために 上町北区住民が制限運転を宣言

10月9日、市役所で制限運転宣誓式が開催され、上町北区民23人を代表し西山繁区長が宣誓証書を読み上げました。制限運転は、運転しない時間帯や場所などを事前に決め、心身に余裕を持って車を運転してもらうことで高齢者の事故を防ぐ取り組み。運転寿命を延ばす選択肢のひとつとして広報こばやし8月号でも紹介しています。

健幸のまちづくりを推進

応募総数1,056点から選出!

ポスターと川柳で健幸のまちづくりを啓発



10月14日には最優秀賞3人の表彰式がおこなわれ、宮原市長から表彰状を授与された後、作品に込めた思いなどを話しました。

10月14日、健幸のまちづくりをテーマとした啓発作品コンクールの表彰式がありました。同コンクールは、生活の基本でもある「健康」の重要性について自ら考え、健康づくりへの積極的な取り組みを啓発するために実施。表彰式では、ポスターコンクール中学生の部で最優秀賞を受賞した上之園さんが「豊かな自然に包まれて健康で幸せに暮らす小林市を描きました」と話していました。

各最優秀賞作品は、市の健幸のまちづくり啓発に活用します。



ポスターコンクール
(中学生の部 最優秀賞)



東方中学校 3年
上之園 如永文 さん



ポスターコンクール
(小学生の部 最優秀賞)



南小学校 4年
後藤 はるの さん

優秀賞受賞者

◆ポスター(小学生の部)

- 渡辺 海音さん(小林小③)
- 藤上 結衣さん(細野小②)
- 久保 樟さん(西小林小②)
- 内木 瑠璃桜さん(東方小⑤)
- 坂元 柚那さん(永久津小⑤)
- 山毛 陸奨さん(三松小④)
- 池田 太成さん(幸ヶ丘小⑥)
- 中間 彩心さん(須木小⑥)
- 山下 魁童さん(野尻小④)

◆ポスター(中学生の部)

- 安藤 舞香さん(西小林中③)
- 中村 莉乃葉さん(永久津中③)
- 田原 杏望さん(三松中①)
- 鎌田 美月さん(須木中②)
- 前谷 真帆さん(野尻中③)
- 有木 舞彩さん(紙屋中①)

◆川柳

深夜すぎ
スマホ見るより
夢見よう



大坪 沙代 さん

- 庵地 瑠美さん
- 長野 世奈さん
- 永吉 志帆さん
- 深見 真奈さん
- 池田 良子さん

スポーツのまちを推進

13種目のスポーツを子どもたちが体験
キッズチャレンジオリンピック in こばやし



ハードルやジャベリックボールなど実際に陸上競技で使う道具を使用した障害物競走を楽しむ様子。親子での競争もあり会場は笑顔でいっぱいでした。



各種目で趣向を凝らしたメニューを体験。①陸上②ソフトテニス③水泳④硬式テニス⑤新体操⑥バスケットボール⑦バレーボール⑧トランポリン

9月13日、10月4日に「キッズチャレンジオリンピックinこばやし」が開催されました。少子高齢化などによりスポーツを選択する子どもの減少などが全国的に課題となっているなかで、「スポーツのまちこばやし」を推進するため、子どもたちにさまざまなスポーツを体験する機会を創出。その楽しさを知ってもらいスポーツ少年団などへの加入増加につなげることを目的に、今年初めて実施しました。11月22日までの計4回開催予定で、市内の年長児から小学3年生までの33人が参加し、全13種目を体験しています。

9月13日には、小林総合運動公園で陸上・ソフトテニス・硬式テニス・水泳の4種目、10月4日には市民体育館で新体操・トランポリン・バスケットボール・バレーボールの4種目を体験。市内の競技団体の会員やスポーツ少年団の指導者を講師として招き、それぞれの競技で「簡単なスポーツ遊び」とおとして、親子と一緒に汗を流しながらスポーツの楽しさを体感しました。また、スポーツ少年団の子どもたちによる競技実演なども行わ

れ、子どもたちは興味津々な様子で見学していました。

参加した新福凛也くん(栗須小2)は「初めてするスポーツが多くて、最初は難しかったけれど、先生が優しく教えてくれたので、できるようになりました。陸上の競走や硬式テニスが楽しかったです。」と話していました。

今後、11月3日に市民体育館でバドミントン、柔道、ハンドボール、11月22日に緑ヶ丘市営野球場で陸上、野球、サッカーを開催予定です。